鳥類

2. 鳥類の分布調査の概要

(1)調査の概要

鳥類を対象とした分布調査は第2回調査から行われており、a)繁殖期における分布状況を調査した第2回及び第5・6回調査、b)冬季における分布状況を調査した第3回調査、c)集団繁殖地や集団ねぐらの分布状況等を調査した第4回調査の3つのタイプの調査を実施した。

第 2 回調査: 1978 (昭和 53) 年度

わが国で繁殖の知られている、あるいは繁殖の可能性のある 257 種(外来種 13 種を含む)を対象に、日本野鳥の会会員により現地調査と既存資料調査を行った。現地調査では、調査区画に全長 3km の調査コースを 1 本設定し、生息鳥類の繁殖の可能性等について調査した。生息が確認された種のうち繁殖の可能性がない種を除く 205 種について、5 万分の1 地形図(約 20km 四方)を単位とする分布図を作成した。

調査	調査対象種数	報告された種数	延べ報告件数	調査員数
第2回	257	232	2,225	986

第3回調査:1984(昭和59)年度

冬季における分布状況の把握を目的として、日本野鳥の会会員などにより現地調査を行った。分布情報は3次メッシュ(約1km四方)を基本として収集し、報告のあった321種について2次メッシュ(約10km平方)を単位とする分布図を作成した。

調査	調査対象種数	報告された種数	延べ報告件数	調査員数
第3回	538	321	216,678	1,619

第 4 回調査: 1989 ~ 1991 (平成元~3) 年度

集団繁殖地や集団ねぐらをつくる22種を対象として、集団繁殖地、集団ねぐらの分布状況等について、日本野鳥の会会員、都道府県の鳥獣保護員へのアンケート調査、文献調査を行い、規模の大きなコロニー、集団ねぐらについて、日本野鳥の会会員などによる現地調査を行った。合計2,336件の分布情報が得られ、その結果を5万分の1地形図(約20km四方)を単位とする分布図にとりまとめた。

調査	調査対象種数	報告された種数	延べ報告件数	調査員数
第4回	22	22	2,336	170

第5・6回調査:1998~2002(平成10~14)年度

日本に生息する可能性のある 577 種について、日本野鳥の会会員などにより、第 2 回調査とほぼ同じコースで繁殖期にラインセンサスと定点調査を行い、アンケート調査で情報を補完した。生息が確認された種のうち繁殖の可能性がない種を除く 248 種について、5 万分の 1 地形図(約 20km 四方)を単位とする分布図を作成した。

第2回調査と比較すると、カワウ、アオサギなど25種で繁殖分布の拡大が見られ、ウズラ、アカモズ、チゴモズなど27種で縮小が見られた。196種については大きな変化は見られなかった。

調査	調査対象種数	報告された種数	延べ報告件数	調査員数
第5·6回	577	406	220,440	1327
				(+7団体)

(2) 本書に掲載した分布図

前記の各調査から得られた分布図から、本書では次の2つの分布図を、季節的な分布がわかるように、種ごとに左右に並べて掲載した。

- A) 第5・6回調査によって得られた繁殖分布図。5万分の1 地形図(約20km四方)を単位として表示。
- B) 第3回調査によって得られた冬季の分布図。2次メッシュ(約10km四方)を単位として表示。

各ページ左側に第5・6回調査の分布図(A)を配置し、各ページ右側に第3回調査の分布図(B)を配置した。

「凡例

A:ページ左側分布図 第5・6回調査

0035^①ウミツバメ科^②

ヒメクロウミツバメ®

【繁殖分布調査】(1998-2002)^④

Hydrobatidae ^⑤

Oceanodroma monorhis [®] [Breeding Survey] [®]

環境省レッドリスト[2006]:VU®

■は約20km×20km ⁹

B:ページ右側分布図 第3回調査

0033 ウミツバメ科

ヒメクロウミツバメ

【冬季調査】(1984-1985)

Hydrobatidae

Oceanodroma monorhis
[Wintering Survey]

環境省レッドリスト[2006]:VU

■は約10km×10km®

- ① 種コード:前記の各調査で用いられたコード (第3回調査と第5・6回調査の種コードは必ずしも一 致しない)
- ② 科の和名:『日本鳥類目録改訂第6版』に準拠
- ③ 種の和名:『日本鳥類目録改訂第6版』に準拠
- ④ 第3回調査(冬季調査)、第5・6回調査(繁殖分布調査)の別
- ⑤ 科の学名:『日本鳥類目録改訂第6版』に準拠
- ⑥ 種の学名:『日本鳥類目録改訂第6版』に準拠
- ⑦ 第3回調査(冬季調査)、第5・6回調査(繁殖分布調査)の別(英文)
- ⑧ 環境省レッドリスト掲載種の場合は、そのカテゴリー
- ⑨ 第5・6回調査 (繁殖分布調査) のメッシュの大きさ
- ⑩ 第3回調査(冬季調査)のメッシュの大きさ

※専門家の少なさや地域的偏在、あるいは調査期間の制約などの事情により、分布状況を的確に表現するに至らなかった分布図も相当数にのばっている。また、近縁種との誤認と思われるものや、既存の知見からみて検討を要する分布情報が含まれる場合もあり、分布図を活用する際に留意を要する。とくに分布情報が不足していると思われる分布図には、タイトルラベルの下にその旨の注記を付した。





*オオルリ、カッコウ等の夏鳥、マガン、ヒシクイ等の冬鳥など、日本列島に一時期しか分布しない種は、その時期の分布図のみを掲載した。同様に、いずれか一方の時期でのみ調査対象とされた場合も、その時期の分布図のみを掲載した(上図)。





*本来は日本列島に分布している時期の調査でも、分布情報が得られていない場合は「繁殖分布調査データはなし」、「冬季調査データはなし」の注釈を、また本来は日本列島に分布しない迷行鳥の場合は「迷行鳥として記録」などの注釈をタイトルラベル下に記した(上図)。



































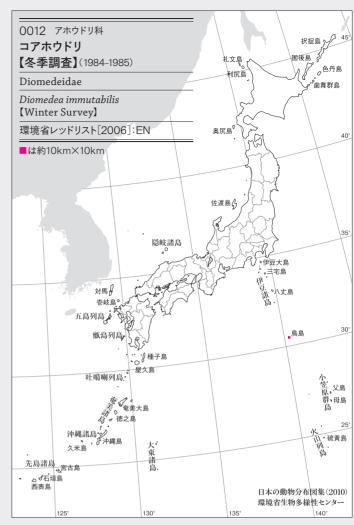














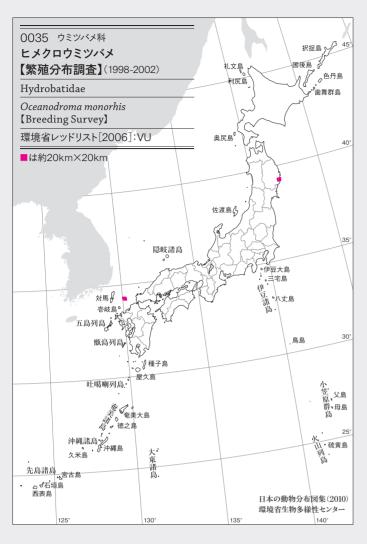








































































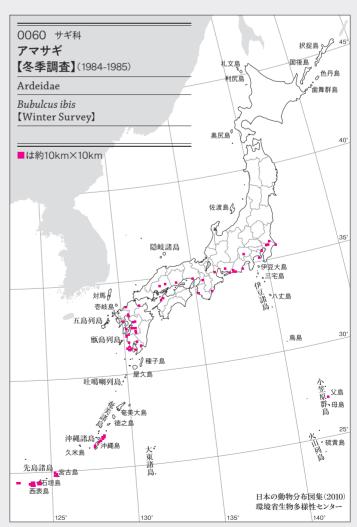










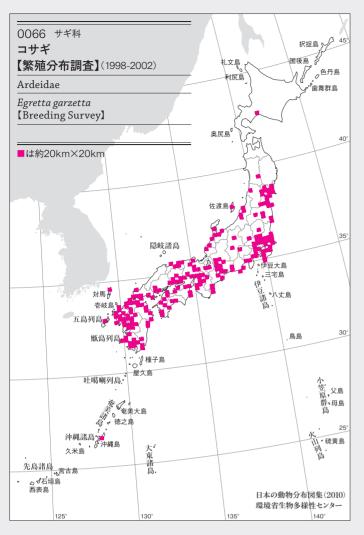
























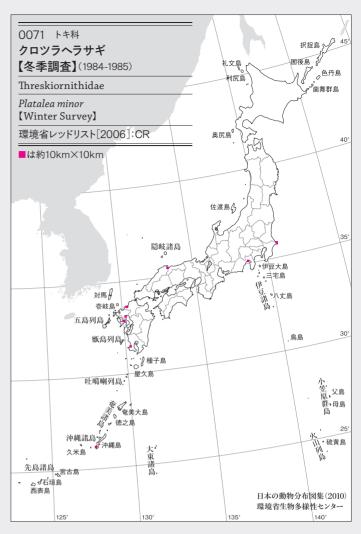












































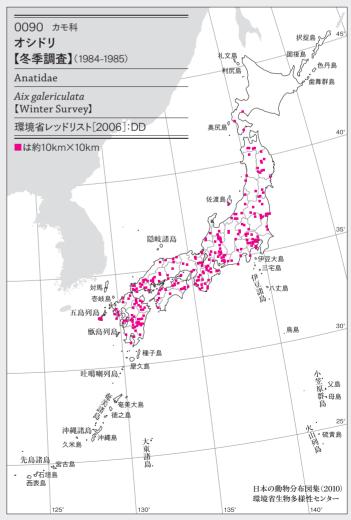












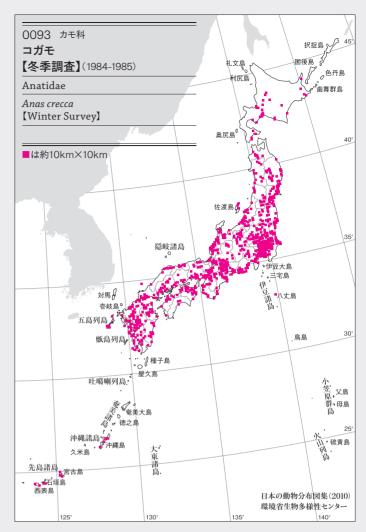






















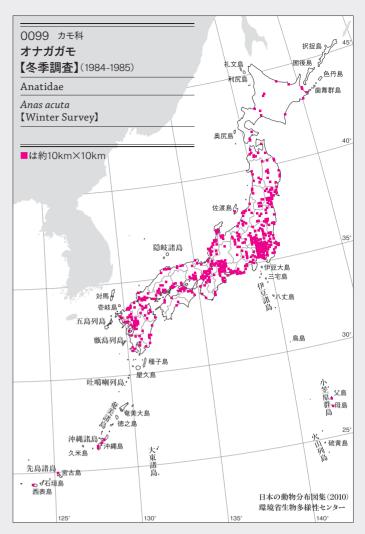


































































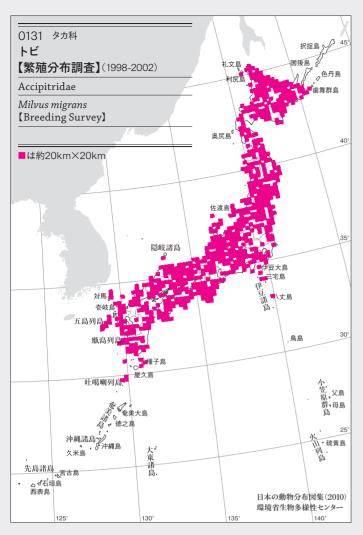








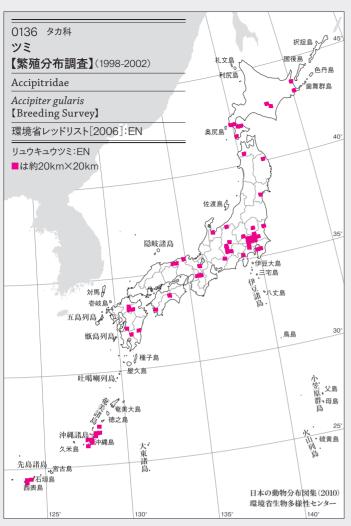




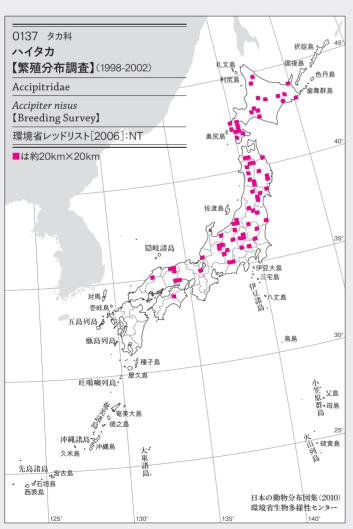










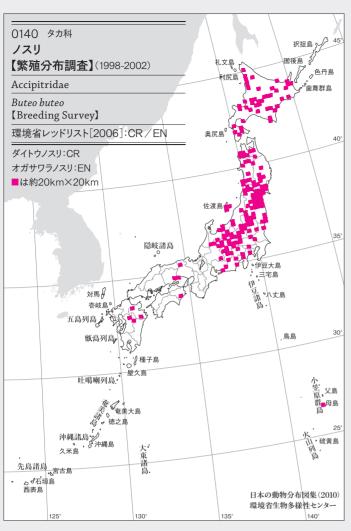




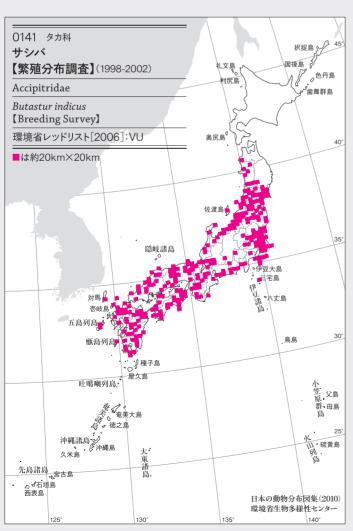






























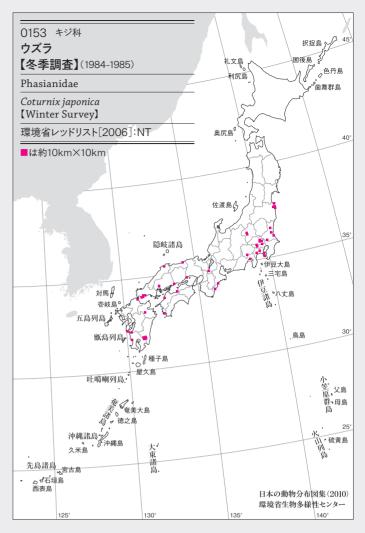






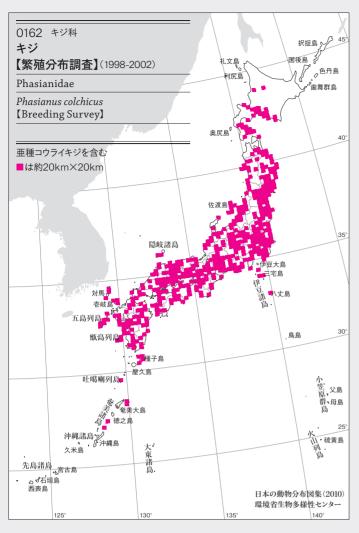


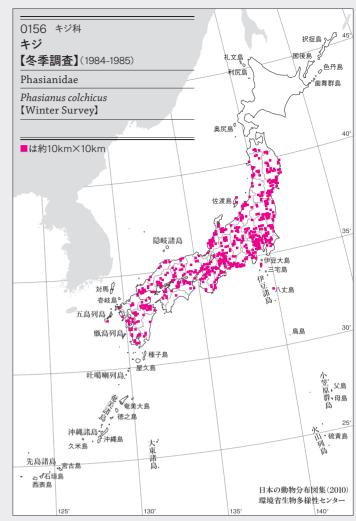








































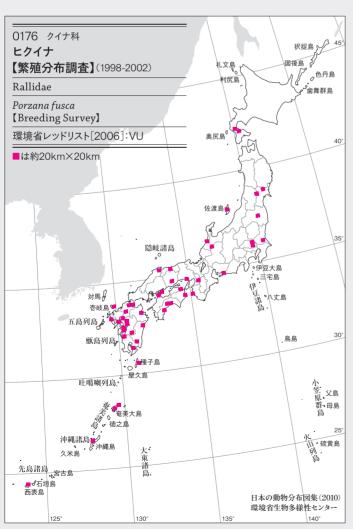






















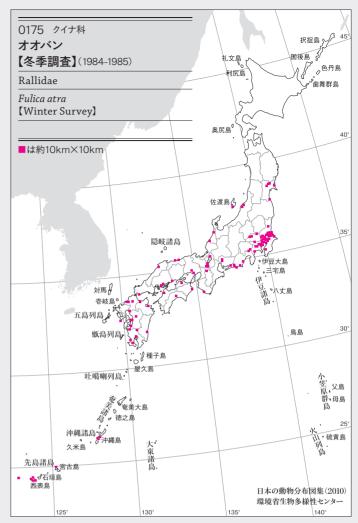


















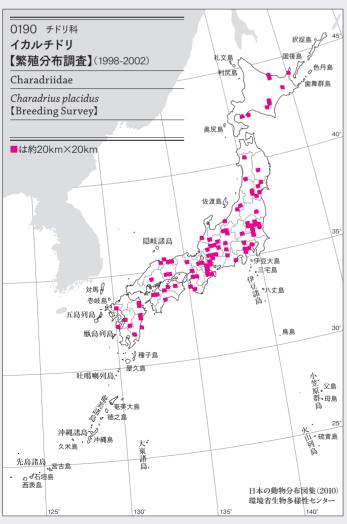






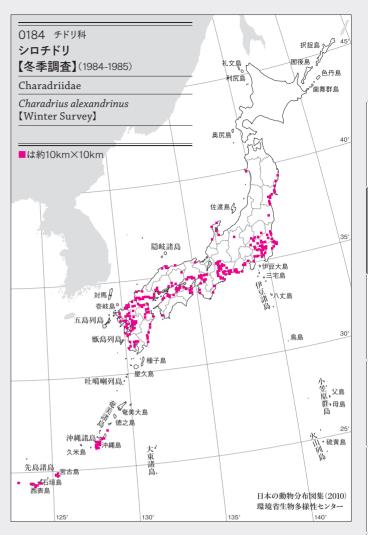










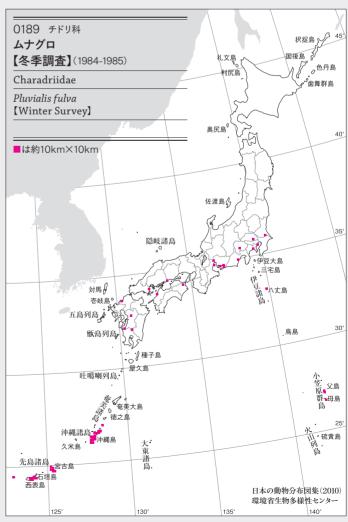












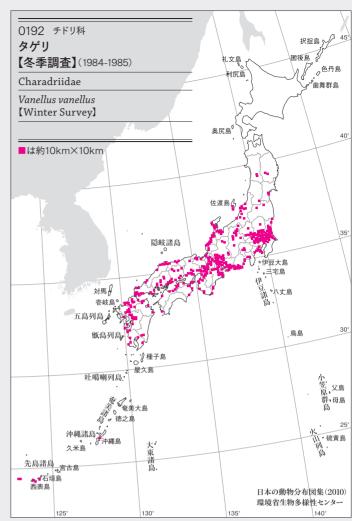










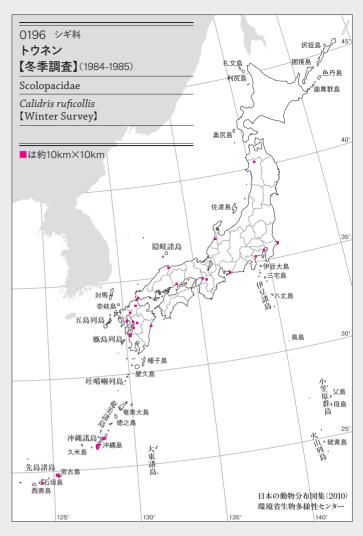








































































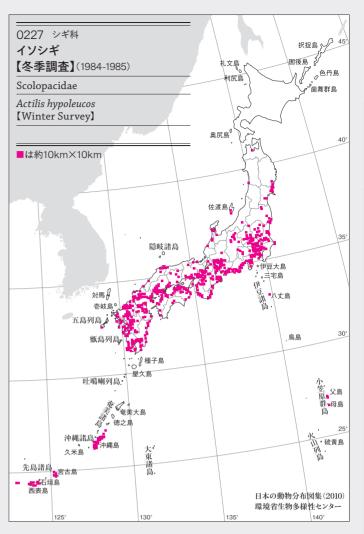












































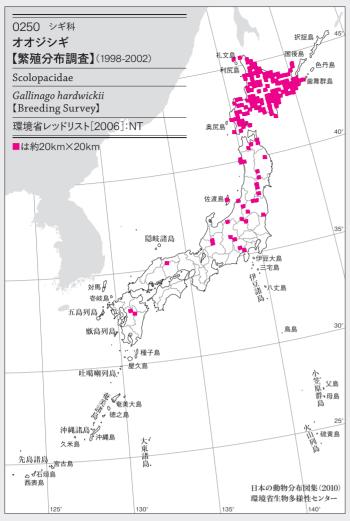
























先島諸島 □ 2 古島 □ 3 石垣島 西表島









































































































